

氏名	飯岡由紀子	部署	大学院研究科	職名	教授
研究分野	臨床看護学、がん看護学、看護教育、Women's Health、慢性期看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	聖路加看護大学看護学部看護学科、聖路加看護大学看護学研究科博士前期課程、聖路加看護大学看護学研究科博士後期課程				
経歴	兵庫県立看護大学、聖路加看護大学、東京女子医科大学看護学部				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本がん看護学会（代議員）、聖路加看護学会（評議員）、日本女性医学学会（幹事）、日本女性心身医学会（評議員）、日本緩和医療学会、日本乳癌学会、日本看護学教育学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	看護学入門 8 成人看護Ⅰ 第5版	共著	あり	メヂカルフレンド社、2-30、377-382、383-384、421-448	編集：小林寛伊、飯岡由紀子 執筆：石原照夫、小檜山律、大西哲、山崎正雄、並木重隆、柴田講、富谷智明、野家環、浦部晶夫、飯岡由紀子、星野純子、中島恵美子、小林礼実、廣田千穂、原美鈴、會田みゆき	2021年11月	
2	看護学入門 9 成人看護Ⅱ 第4版	共著	あり	メヂカルフレンド社、54-58、59-85、290-294、295-313	編集：小林寛伊、飯岡由紀子 執筆：浜野久美子、秋山義隆、石川孝、戸塚康男、池田壽雄、龜山周二、吉澤利弘、木村俊運、太田峰人、館田一博、高松潔、白橋真由、樋口敦彦、田中郁百、小川真里子、杉山重里、橋本志歩、飯岡由紀子、池田佳子、鈴木香緒理、杉本知子、富田学、黒澤亮子、中野真理子、大場良子	2021年11月	
3	看護学入門10 成人看護Ⅲ 第4版	共著	あり	メヂカルフレンド社、52-95	編集：小林寛伊、飯岡由紀子 執筆：新井嘉容、五十嵐敦之、坂田礼、福岡詩麻、中村奈津子、深谷卓、中川寛一、飯岡由紀子、大場良子、金さやか、星野純子、井ノ下心	2021年11月	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	看護における「バイタルサインの正確な測定」の概念分析	共著	あり		日本看護学教育学会誌、31(1)、1-13	渡邊恵、飯岡由紀子	2021年7月
2	チームアプローチ評価尺度改訂版（TAAS-R）の開発—信頼性と妥当性の検討—	共著	あり		日本看護科学学会、41巻、114-121	飯岡由紀子、亀井智子	2021年12月
3	看護系大学院修士課程におけるチームビルディング力育成プログラムの効果	共著	あり		聖路加看護学会誌、25（1）、20-28	飯岡由紀子、亀井智子、片岡弥恵子、高橋恵子、川上千春、福島鏡	2021年9月
4	「臨地実習において配慮が必要な学生への教育上の調整」におけるFD・SDプログラムの開発（第1報）	共著	あり		日本看護学教育学会誌 31巻2号、95-106	飯岡由紀子、松岡千代、小川純子、遠藤和子、吉本照子	2021年11月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月		
1	エストロゲンレベル低下が更年期女性と産褥女性の愁訴に与える影響の比較	共同	第36回日本女性医学学会、大坂	田島恵、白橋真由、橋本志歩、杉山重里、飯岡由紀子、小川真里子、堀口文、高松潔	2021年11月		

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）		チームの納得を促進するための看護師のコーディネート力向上プログラム開発と評価	研究代表者	2019～2023年度
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		AYA世代婦人科がん体験者における女性性の危機と再適応を促す因果モデルの検証	研究分担者	2020～2023年度
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	看護研究	○	9	看護の向上や発展をはかるために必要な看護研究の方法に関する基礎的知識・技術を理解し、看護学における研究の役割や研究プロセス、研究成果の臨床への適応について理解する。	
2	看護倫理	○	8	保健医療福祉分野において、看護の実践・研究・教育を深めるために必須となる理論的基盤について学術的に考察する。	
3	がん看護学援助論Ⅰ	○	15	がん看護専門看護師としての役割を遂行するために必要な知識、技術、態度と、専門職との連携についての理解を深める。多様な専門看護師を非常勤講師として招聘し、実践的な知識の修得に努めた。	
4	がん看護学援助論Ⅲ		15	緩和ケア、特に終末期ケアに焦点を当て、スピリチュアルケアや意思決定支援、看取りケアなどに関する理解を深める。また、地域や多職種チームでの看護実践についての学びから、がん看護専門看護師の役割を考究する。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	がん看護学演習Ⅰ	○	30	がんリハビリテーションに焦点をあて、がん治療がもたらす生活への影響と身体的・心理社会的ニーズを踏まえて、治療中・治療後における患者のセルフケア能力向上のための方略について探究し、生活の質を高めるための看護を深める。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	IPW実習		4日間		
2	がん実践看護実習Ⅰ	○	14日間	連携のあり方を検討するため、訪問看護ステーションと大学病院の地域連携部署の両側面から理解を深めるようにした。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	修士論文	2021年4月～2022年3月	主指導（指導教員）	5名	副指導（指導補助教員） 名
2	博士論文	2021年4月～2022年3月	主指導（指導教員）	2名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	慶應義塾大学 非常勤講師	2021年11月	助産師専攻学生が、更年期医療とケアの理解を深める。		
2	上智大学 非常勤講師	2021年5月	助産師専攻科学生が、更年期医療とケアの理解を深める。		
3	聖路加国際大学 非常勤講師	2021年11月	大学院ウィメンズヘルス専攻学生に、更年期医療とケアの理解を深める。		
4	東京医療保健大学 非常勤講師	2021年4～5月	大学院の看護研究と研究手法の理解を深める。		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	FD研修会	奈良県立医科大学	臨床・臨地実習における学生への支援を考えよう		2021年6月
2	講演	埼玉協同病院	看護研究初級編講座「看護研究」		2021年9月
3	講演会	埼玉MWE	がん治療を受ける患者、家族のケア		2021年11月
4	ワークショップ	岐阜大学MEDC	がん医療における多職種連携の要となるコーディネート能力とは		2021年11月

5	研修会	東京女子医科大学	看護師へのリフレクション研修：リフレクションプログラム	2021年11月
6	研修会	日本女性心身医学会	ウィメンズヘルスケアにおける看護カウンセリング	2022年1月
7	研修会	埼玉県立がんセンター	ELNEC-Jフォローアップ研修：リフレクションプログラム	2022年2月
8	研修会	東京女子医科大学	リフレクションプログラム：答えはあなたの語る体験の中にある	2022年3月
9	FD研修会	天理医療大学	教育上の調整が必要な学生の支援を考えよう-組織的支援を形づくるために-	2022年3月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	日本看護科学学会		和文誌編集委員会	2021年8月～現在
2	日本がん看護学会		編集委員会	2021年4月～現在
3	日本女性医学学会		庶務委員会、リエゾン委員会、将来検討委員会	2021年4月～現在
4	日本女性心身医学会		利益相反委員会、将来検討委員会	2021年6月～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会		2021年4月～2022年3月
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会		2021年4月～2022年3月
3	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント相談員		2021年4月～2022年3月
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			